

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

6月18日(日) 横綱の迫力に興奮

今年で4年目となる大相撲宮城野部屋の長浜合宿が行われました。力士達の迫力満点の稽古を一目見ようと、早朝から大勢の人が集まりました。

稽古後に幼稚園児から中学生までの子どもたちと交流を行い、小さな子どもが3人がかりで力士を土俵の外に押し出すなど会場を大いに沸かせました。白鵬関から直接指導を受けた中学生は「教わった技を使っていきたい」と目を輝かせていました。



6月25日(日) 県民に愛された歌が100周年

「琵琶湖周航の歌」の生誕100周年の記念イベントが行われ、市民有志らによって豊公園に歌碑が設置されました。

除幕式には加藤登紀子さんが駆けつけ、参加者とともに琵琶湖周航の歌を合唱し、完成を祝いました。船上ライブや市内小学生による「わたしの夢の発表会」などのほか、飲食ブースがチャリティで出店されるなど盛りだくさん。笑顔と善意あふれるイベントにおよそ1,500人が訪れました。



7月1日(土) 東レアローズの選手が技術を直伝

長浜市民体育館で長浜バレーボールフェスタが開催され、市内の小中学生が東レアローズの選手から指導を受けました。

参加した小学生は、「見ていて参考になった。パスを出すときも受けるときもしっかり声が出ていて素晴らしいと思った」と、技術だけでなく基本的な心がまえについてもしっかりと学ぶことができ、意義のある一日となりました。



7月8日(土) 胸を打つ演奏が響き渡りました

滋賀県吹奏楽フェスティバルが、長浜バイオ大学ドームで開かれ、市内の7中学校と、県内外の高校・大学の吹奏楽部など総勢20組、1,200人の演奏者が集まりました。

中学校の吹奏楽部では、1年生の初めての演奏会となる学校もあり、緊張した表情をみせる生徒もいましたが、日頃積み重ねてきた練習の成果を大いに発揮していました。

フィナーレでは1,200人の奏者が「上を向いて歩こう」を演奏。多くの観客が口ずさみ、会場は大いに盛り上がりを見せました。



このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」

検索

7月9日(日) 長浜が誇る伝統 東京・世界へ！

長浜曳山祭がユネスコ無形文化遺産に登録されたのを記念し、国立劇場(東京都千代田区)で子ども歌舞伎などが披露されました。

公演は、「諫鼓山」山組メンバーによる迎えしゃぎりで開演し、「長刀組」が太刀渡りや翁招きを披露。ステージでは「三番叟」と、「春日山」、「月宮殿」、「青海山」の3つの山組が歌舞伎を上演。役者たちの熱演に大きな声援と惜しめない拍手が送られました。

さらに、長浜市と台東区が今年3月に都市連携協定を締結したことを受け、歌舞伎交流事業として浅草神社(東京都台東区)でも「春日山」が子ども歌舞伎を披露しました。

有数の観光地での公演だけに外国人観光客も多く見守る中、堂々と披露した子ども役者たち。長浜曳山祭を世界にPRすることができました。

